



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**48**号

平成23年1月19日

河津町議会だより



河津町消防団出初式

主な内容

- 新年のごあいさつ..... 2 P
- 町長の行政報告..... 3 P
- 平成22年第4回定例会（抜粋）..... 4 P
- 一般質問..... 5～10P
- 視察報告 他..... 11P
- 議会の動き、私も一言..... 12P

明けましておめでとうございます 本年もよろしく願い申し上げます

2011年 元旦



新年のごあいさつ

河津町議会議長 土屋 桑太郎

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は町議会に對しまして、ご指導とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は依然として長期的な日本経済の不況が続き、なお一層厳しい生活環境となっております。地域経済への打撃も大きく、労働環境の悪化や下請け業者へのしわ寄せなども招いており、生活は先行き不透明な不安を抱えています。当町においても、人口は昨年11月現在8,164名となり、年々減少しています。人口減少、税収減少、交付税の削減と明るい話題が少ない当町ですが当面は合併が破綻したため自立の道を歩むわけです。

昨年10月の議会選挙では、議員数は12名から11名と1名削減しましたが、新人議員3名が加わり新しい体制での議会活動がスタートしました。1人1人の考え方は違いますが、お互いに補いながら、知恵を出し合い、行政組合、広域連合とも連携し調査検討を行い、政策を立案し、問題解決に一同で取り組みます。

小さな自治体の良さと悪さがありますが、私たち議員は町民の代表として、皆さんの日常生活に密着した福祉、教育、産業など様々の事業に民意を反映させた町創りを目ざします。

また昨年4月に誕生した執行機関の長である相馬新町長と調和を保ちつつ、町政運営を行います。

町民皆様の代表の議決機関として情報を開示し皆様と問題意識を共有し、町民生活の安定と安全の向上を図ります。

つきましては、町民皆様の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年も皆様にとってよい年となりますよう心からご祈念申し上げます。

平成22年 第4回定例会

(抜粋)
12月14日、15日

町長の行政報告



●平成23年度予算編成

歳入面では人口減少、景気低迷により町民税の減少、歳出面では扶助費などの増加見込み、平成23年度予算は限られた財源で最小の経費で最大の効果を指示した。

●河津町第4次総合計画

町内9会場で地区懇談会を開催、356名の参加。

●地域防災訓練

12月5日訓練を実施、中学生152名、高校生131名を含む2,234名が参加。

●共立湊病院組合

7月1日社会医療法人「ジャパン・メディカル・アライアンス」を指定、しかし県より問題点を指摘され新指定管理者「静岡メディカルアライアンス」を提案、地域住民の医療を確保できるよう願うものである。

●子育てサロン

10月1日スタートした「子育てサロン」2ヶ月間

で、10月は488人、11月は409人、名称は「チョコット」と決定。

●民生児童委員の改選

改選が12月1日に行われた。25人中20人が改選、25人の方々と2人の児童委員の合計27人に今後3年間の活動を願った。

●(株)河津バガテル公園

11月末入園者数は58,879人(前年比75.5%)国民宿舎かわづ利用者数は6,481人(前年比82.8%)

●観光施設整備事業

河津バガテル公園整備工事は、植信造園が112万3,500円で契約。また県観光施設整備は補助による河津城址公園整備工事を東海建設(株)1,509万9,000円で契約。谷津区南禅寺の整備は調査業務を(株)日測コンサルタントが651万円で契約。設計業務委託を正木設計が275万円で落札、平成24年度中に完成予定。

●観光関係事業補正予算

平成23年、菖蒲沢公衆トイレ改修。シャトルバスの運行費用。峰大噴湯公園の自動間欠装置修繕等の補正予算の計上。

●農業関係事業

大堰地区県単水路改修工事、延長40.6m施工、斉藤土木(株)115.5万円で契

約。梨本地区県単水路改修工事、延長11.4m(株)大塩組140万円で落札。

●林業関係事業

見高入谷地区県単治山工事、延長16m山内組が183万7,500円で契約。

●道路維持事業

町道大堰笹原線舗装補修工事、延長140mアスファルト舗装、丸三工業(株)411万円で落札。町道見高浜線舗装補修工事、延長70m世紀東急工業(株)、195万円で落札。町道笹原浜線、側溝補修工事、延長54.3m(有)加畑組が、239万円で落札。

●水道事業

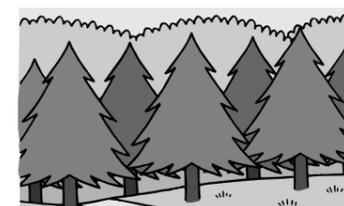
川横地区水道管新設工事、延長700m(有)寺林工務店が4,930万円で落札。川横配水池築造工事250tの配水池を建設、(株)大塩組が6,845万円で落札。

●静岡県市町対抗駅伝大会

12月4日、町の部で13チーム中、10位の成績をおさめた。

●森林・林業関係事業

登り尾地内の町有林、6.5haの間伐を12月10日に入札し、伊豆森林組合が93万円で落札。



平成22年

条例の制定・改正及び補正予算など

第4回定例会

議案第68号

河津町職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第69号

河津町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
議案第70号

町道路線の認定について
見高大谷津口、萩久保線を新たに町道に認定する。
議案第71号

平成22年度河津町一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出予算の総額に34,488千円を追加し、総額をそれぞれ3,607,950千円とする。
議案第72号

平成22年度河津町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に83,248千円を追加し、総額をそれぞれ1,321,984千円とする。
議案第73号

平成22年度河津町介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入の財源更正と歳出項目の更正。
議案第74号

平成22年度河津町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に876千円を追加し、総額をそれぞれ85,954千円とする。

議員発議による意見書

発議第1号

子宮頸がんワクチンの国と地方による全額助成を求める意見書の提出について
地方自治法第99条の規定による意見書の提出。

関する条例の一部改正について
議案第65号

平成22年度河津町一般会計補正予算(第8号)
議案第66号

平成22年度河津町介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第67号

平成22年度河津町水道事業会計補正予算(第3号)

平成22年 河津町議会臨時会

第5回臨時会

同意第3号

監査委員の選任について
梨本173-1

稲葉 静氏(新任)に同意
同意第4号

教育委員の任命について
沢田137番地

板垣秀樹氏(新任)に同意
同意第5号

教育委員の任命について
峰539番地

長田三枝子氏(新任)に同意
承認第8号

専決処分の承認を求めることについて
平成22年度河津町一般会計

補正予算(第5号)

承認第9号

専決処分の承認を求めることについて
平成22年度河津町一般会計

補正予算(第6号)

第6回臨時会

承認第10号

専決処分の承認を求めることについて
平成22年度河津町一般会計

補正予算(第7号)
議案第63号

河津町職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第64号

河津町特別職の給料等に

常任委員会構成

第1常任委員会

委員長……吉田重好
副委員長……土屋 貴
委員……小林和子
宮崎啓次
山田 勇
土屋衆太郎

第2常任委員会

委員長……萩原清男
副委員長……渡辺 弘
委員……稲葉 静
川下英一
坪井弘司
土屋衆太郎

一般質問

第4次総合計画と来年度予算は

町長—総合計画5つの目標と緊急性、重要性、効率性で

質問…総合計画で、10年間の目指すまちづくり構想は。来年度予算は、目標達成の為のスタート年度であり、主な取り組み事業は。

町長…目指すまちづくり構想は、5つの基本理念と基本目標のもと取り組む。社会福祉の充実、青少年の健全育成、産業振興、観光振興、生活環境整備、町民との協働を施策とし、今後の人口

減少も視野に対応したい。

来年度予算は予防接種事業、桜並木整備、谷津南禅寺整備事業、菖蒲沢公衆トイレ、大堰浄水場改修、鳥獣害対策、河津駅北口整備事業の取り組み。

質問…町長のもと、新しいまちづくりの為に、機構改革の推進は。

町長…企画室等人事異動も含めた機構改革をしたい。



渡辺 弘 議員

行政執行側の者で良いか。町長…各情報公開は進めて参りたい。各施設のあり方も今後の位置づけの点も含め、検討委員会を設ける事も考えたい。

水道温泉事業について

町長—年度計画を、温泉を生かしたまちを

質問…水道は町民の安心、安全を第一に取り組む事業。石綿管布設がえ工事計画は。温泉加入営業と、今後の取り組みは。

町長…石綿管工事は膨大な費用がかかるがインフラ整備の為に、年度計画を立て推進する。温泉事業は、加入金の調整も含め検討委員会の設置を考える。

質問…水道は町民の為にインフラ整備なので町財政の費用配分は。温泉は58%が捨てられている。有効利用の施策は。

町長…余剰温泉は温泉を生かしたまちづくりのためにも、旅館、民宿の営業にも効果のある利用の推進も図ってまいりたい。



地区懇談会(湯ヶ野)

観光政策の取り組みは

町長—情報公開の推進、検討委員会の設置

質問…公の施設の運営は。今後町の負担の対策は。町内の財産を一堂に集め、一体化した観光行政に取り組むため、観光企画室の立ち上げは。

町長…入園者数の減少と、老朽化による修繕費の増等、

運営について、検討委員会の立ち上げも考えたい。観光企画については、町全体の企画室の中にも含めた方向で対応したい。

質問…施設運営の会計等に情報公開を。文化財の保護と施策。指定管理受託者が

今井浜駅付近町道認定後の町負担は

町長－町は一切負担しない

質問...町政報告会での意見、要望は。

町長...公約でもあり、9地区会場で356名の町民の方の出席だった。観光・地域振興が一番多かった。荒廃農地の問題、鳥獣害対策、地域医療問題もある。

質問...鳥獣害対策について、高齢化の猟友会の皆様の年間の更新負担額に助成は出来ないか。

町長...今後検討する、来年度はまずワナに対して補助金を設ける。

質問...病院問題の関連で町道認定について、目的は何か、なぜ今議案上程か。

小水力発電の導入を

町長－水量調査等し、取り組みたい

質問...水車を利用した小水力発電、メガソーラー（大規模太陽光）発電等、自然

建設課長...伊豆急と交換、寄付等により道路機能を有した道路を取得する、又公衆用道路となっている為、認定する。

質問...将来病院が出来た場合、国道からの右折車両が多くなり、交通量が増え危険度が増す。道路改良が必要になり、莫大な工事費になる。認定後の拡幅、行政の業務的な面も含め、町の負担はないか。

町長...県道、国道沿いの土地改良、拡幅については受益者負担的な改良が多い、町は改良に関わる費用は一切負担しない。

エネルギー、エコ発電の特色の町に取組めないか。

町長...上佐ヶ野の親水公園は水量、水圧が水力発電に可能との事。各地域水量調査等し、取り組みたい。

質問...農業用水を利用し、



宮崎啓次 議員

水車で観光資源に出来る。国の導入促進事業のメガソーラーについても研究出来ないか。

町長...自治体としての要件を検討したい。自然エネルギーの導入について、今後町も真剣に取り組む。

地デジ東京波の実現は

町長－伊豆全市町と歩調合わせ取り組む

質問...首都圏との交流が深い地域である。地デジ東京波の視聴実現に対策は。又地デジ難視対策は。

総務課長...総務省は伊豆は静岡エリアとの位置づけである。町は引き続き要望していく。難視は共同アンテナ設置、衛星アンテナ受信の方法がある。小規模な中継局の要請はしたが、設置への回答はない。

質問...小規模中継局あるいは法律改正に向けて、伊豆東海岸自治体連携をとって要望あげて頂きたい。

町長...伊豆の全市町と歩調を合わせ総務省へ要望する。



上佐ヶ野地区・親水公園水車

鳥獣被害対策は

町長－猟友会の方々と連携してあたる

質問...各種獣の被害状況は深刻で意欲をなくしている人もいる。実状はどうか。

町長...暮らしに大きな影響があるのは衆知。22年度はJA伊豆が雇用創出プランによる被害対策の実施を謀り相当数の鹿・猪を捕獲。東伊豆・河津共同の野猿対策もあるが仲々対応しきれていない。

産業振興課長...農作物の被害は申請時の推計で約1,000万円。町内に5基の罠を設置し、捕獲にあっている。

質問...11月15日に鳥獣被害対策の強化を求める署名を

提出、その中に要求①全域での実態把握②駆除・罠などあらゆる手段を活用③賀茂地区での免許講習会等の開催④対策組織を作る、を訴えた。猟友会には補助を、担当職員には罠免許をとっていただく等はどうか。駆除対策を具体的に。

町長...猿の報奨金は2万2千円に値上げ。4つの要望についてはしっかり検討する。産業振興課長...県の鹿個体数の削減計画がH24年4月迄。今後は6市町で構成する伊豆地域鳥獣被害対策連絡会を来年度実施予定で検

放課後児童クラブは

町長－23年度実施にむけて

質問...検討委員会提案書の詳しい内容は。

町長...実施要項、基準を策定して23年度実施にむけ予算計上の考え。

保険福祉課長...委員会は4回の会議を重ねて提案書を提出。内容は段階的に当面・中期・将来と3段階。当面は南小体育館2階会議室。～6年生まで、18時まで、20～30人まで。指導員は基準に基づいて、23年度予算編成にむけて試算中。

質問...将来的に放課後児童クラブを2階にというのは

反対。環境、危険など考慮すべき。運営の中味は。

町長...暫定的に南小の2階で、長期的には新施設も検

ヒブワクチン、子宮頸ガンワクチン、肺炎球菌の予防接種事業費用の助成は

町長－23年度から助成を

質問...各種ワクチンの現状と助成については。

町長...3種の任意ワクチンについては独自に助成する予定でいた。国が1/2の助成、町があとどの位助成できるか検討をし、23年度から助成・実施。賀茂地域や医師会との相談が整い次第予算計上をしてすすめる。高齢者用肺炎球菌ワクチンにも65才以上の方に助成の考え。

質問...各種ワクチンの経費、助成はどうか

保健福祉課長...河津町では下表のように。助成金額は検討中。

ヒブワクチン	対象は 0～4才まで	自費だと 約36,000円
肺炎球菌	対象は 0～4才まで	自費だと 約44,000円
子宮頸ガンワクチン	対象は 中1～高1まで	自費だと 約48,000円



小林和子 議員

討中。質問...南伊豆町は29の檻が活躍、成果をあげていると聞く。河津町の鳥獣対策防止計画は。

産業振興課長...現在3年計画を策定中。伊豆地域被害対策連絡会は6市町が交付金で共同実施。猟友会の方々と協議し、円滑に対策強化ができるよう取り組む。

討。子育てサロンと併せた施設の建設という考えもある。特別支援学級生の入所は申込があれば手厚く支援。

10年後の河津町の姿(ヴィジョン)は

町長—子育て支援策を基本姿勢として、人口減少に歯止めをかけたい

質問...私は、見つめなおそう故郷、考えよう河津、共に語り合おうロマンを基本姿勢として4年間取組む。10年計画策定にある町づくりの基本姿勢と河津町の現状をどう認識しているか。
町長...少子・高齢化の費用負担増や生産人口の減少に対応すべく働く場所の確保に努める。まずは子育て支援策の強化から始める。
質問...過去20年間に1市5町の人口は、14,000人以上

も減少した。河津町は1,000人余と少ない。年少人口はわずかだが構成比が上がっている。その要因は。
町長...合計特殊出生率は県下2位である。人口減少の歯止め政策の成果と考える。
総務課長...国立社会保障人口問題研究所の推計によると、10年後は6,600人程度になる。第4次計画では、7,700人くらいの目標を立てている。

伊豆地区市町別将来推計人口

	2005年(A)	2010年(B)	2020年予測	A-B(人)	A-B(率)
下田市	26,557	24,848	21,724	-1,709	6.43
東伊豆町	15,165	14,365	12,607	-800	5.28
河津町	8,303	7,973	6,684	-330	3.97
南伊豆町	10,003	9,494	8,396	-509	5.09
松崎町	8,104	7,571	6,461	-533	6.57
西伊豆町	10,372	9,470	7,654	-902	8.6
計	78,504	73,721	63,526	-4,783	6.09

※2005年は国勢調査、2010年は4月1日現在の最新の推計人口

町財政をどうみているか

町長—歳入の減少が続き大変厳しい。生産人口を増やして、町税収入の確保を目指す。

質問...政策を実行していくには、財政の裏付けが必要である。町の歳入を見ると、町税が平成20年度決算959百万円、平成22年度予算871

百万円と減少している。その対応策は。
町長...町政懇談会で約100項目、各地区から約300項目の要望がある。費用対効果



城山から見た河津町



土屋 貴 議員

を重視した対応をとる。歳入の増加策として、しっかりと産業振興政策をすすめ、新たな河津ブランドの創出に取組みたい。

新年度予算の基本方針は

町長—ほとんどの町施設の経営は、厳しい。その施設をもう一度検証し、建て直しをはかる。

質問...新町長のもとでの初めての予算である。中・長期的視野に立って、町単独でやる重点政策とは何か。役場職員に、具体的にどのように指示したのか。
町長...歳入の確保と歳出の徹底した見直し。「共生」「共創」「共働」による施策の展開を基本方針で示した。公約の実現には、時間をかけて行うものもある。
質問...赤字になっている施設に対する改善は、思い切ってやるべきではないか。
町長...バガテル公園は10周年に当たる。観光客のニーズに沿って見直しを行い、将来を見据えて改善していく。

観光事業の22年度決算見通しは

町長—バガテル赤字3,400万円

質問...平成22年度の観光事業の現状はどうか。
産業振興課長...踊り子温泉会館43,520人、サンシップ今井浜19,997人、バガテル公園58,879人、国民宿舎6,481人、七滝観光センターの売上高は率にして、前年比90%、カーネーション見本園は、5,631人。花菖蒲園は、10,719人と多くの施設が前年比減少している。非常に厳しい経営状況になっている。
町長...国民宿舎の赤字見込は1,000万円、観光センター400万円、バガテルを含めグループ全体で3,000万円の赤字見込である。
質問...大変な赤字見込である、この対策はどうするか。
町長は社長として責任をどう認識しているか。トップセールスマンとしての業績拡大に何をしているか。
町長...総支配人を新たに選

任した。今まで公務で出張した際に、少しでも時間をあけて、エージェントや関係先を訪ねて来町をお願いをしている。先日も農協観光などを訪問した。

観光交流館の支援を

町長—一定のルールの基で検討する

質問...河津町の観光交流館事業は、指定管理者に補助金がない。この種の事業は支援金がないと息切れしてしまう。聞くところによると他町では支援金制度があると聞いている。本町においても、補助金を検討してもらえるか。
町長...観光交流館施設の位置づけを議論したい。交流館は河津さくら祭りの重要な施設であり、その間の利用に関する諸経費について議論し、一定のルールを作り



河津桜 観光交流館



坪井弘司 議員

たい。指定管理については、峰温泉大噴湯公園や見高入谷の高原温泉施設等多々ある。いづれも大変厳しい中でも地域で努力していただいている。全体の中での指定管理のあり方を見直して行きたい。

風力発電計画について

町長—県と東京電力の対応を見守る

質問...東京電力・ユーラスエナジー・ジャパンの計画に対し、町の取組姿勢について。静岡県の東伊豆風力発電事業に係る保安林解除について。町の今後の方向性について。静岡県知事が変わり、風力発電事業に熱意が感じられない。また町長の風力発電事業に対する熱意も伝ってこない。河津町に17年間にわたり多額の固定資産税の増収がみこまれる。一体全体どうなっているのか。
町長...何回も県に出向いているが、良い返事がない。県の動向と東京電力の対応を見守りたい。

町長選挙公約の進捗状況は

町長一任中にできる限り実行して行く

質問...町長選挙の前に推薦議員団と共に町内各所で町政報告会を開いた。その折に話された事柄を選挙公約ととらえている有権者もいる。公約として掲げたうちで、経済情勢、社会情勢あるいは法的な事でできないもの、方向修正するもの等を確認したい。

町長...給食費の助成は実行したが、半額助成の公約を財政状況等の点から1人、1,000円の助成にさせていただいた。企業誘致についてはバガテル公園の民間委託を念頭に置いて進めているが、道路網や地形等の問題で手を挙げてくれる企業が無く今のところ光は見えない。もう一つ実行に移せないのが上河津診療所だが道路に面した適地がない。

選挙について

町長一クリーンな選挙をすすめたい

質問...公職選挙法第138条で戸別訪問を禁止している今後の選挙はきれいに実施したいと考えるが町長の感想は。

※公職選挙法第138条

何人も、選挙に関し、投票を得、若しくは得しめ又は得しめない目的をもって戸別訪問する事ができない。

2. いかなる方法をもってするを問わず、選挙運動のため戸別に、演説会の開催若しくは演説を行うことについて告知する行為又は、特定の候補者の氏名若しくは政党その他の政治団体の名称を言いあるく行為は、前項に規定する禁止行為に該当するものとみなす。

活性化案があれば示して

町長一人づくり、地域づくりが大事になる

質問...活性化という難しい問題を考えた時、観光振興だけでなく他の産業も準備するべきと考えるが町長の考えは。

町長...町をどうしていくかを考える人が増えて地域づくりが進められて行くので人づくり、地域づくり、コミュニティの場を設けて活性化につなげたい。雇用の場、産業振興に取り組む事も重要、1次産業の農・林・漁業も振興して活性化につなげたい。



川下 英一 議員

共立病院に関連して

町長一 下田南高跡地へ移転

質問...共立病院は行政報告や前の質問者等の説明で、理解できたので今井浜に計画中の病院は町長としてどう対処するのか。

町長...町長選挙の時は町立病院という事で反対を唱えたが、町内に医療機関ができるのは、町民のみなさんが、安心して暮らせるまちづくりには必要な施設と考える。道路を改修するにしても企業にやっていただき町は道路整備等にも一切負担しない方向で進めたい。意見...行政報告にあった病院組合での町長の意見は同感。首長会議で河津町長としてどんどん主張していただきたい。

議会研修レポート

白馬村訪問(12月6日)

姉妹都市としての親交を深めるべく、町長・議員による意見交換を行った。共に観光立町として生きていく為の協議は、人口・観光客の減少や財政面と多岐に及んだ。両町とも同様な悩みを抱えていた。今後も協議を継続する約束をした。



白馬村との意見交換

大規模太陽光発電施設

自然豊かな北杜市は、日照時間日本一の利点を生かし、大規模太陽光発電の実験中である。27種類のパネルで2MW級の大きさである。太陽光の他に小規模水力発電にも挑戦中。エコ・エネルギーの活用・拡大に積極的に取り組んでいた。



北杜市大規模太陽光発電施設

鹿教湯病院 (12月7日)



鹿教湯病院リハビリテーション

上田市郊外にある鹿教湯病院は、保険・医療・リハビリを通じて、高齢者・障害者が自分らしく生き生きと輝き暮らせる事を目指していた。居宅介護支援や指定療養介護にも取り組み、患者の症状に対応した医療が行われていた。(土屋)

一部事務組合報告

共立湊病院組合議会

11月2日 特別委員会

新病院に期待される役割について。下田保健所長より「賀茂医療圏の課題について1次と2次の確保、病院・診療所・関係団体との連携」等の話。JMAからは「23年・24年度の運営計画について理念・体制・財務他」の話があった。

11月26日 組合議会

中核病院として地域との連携を図る目的で各市町保健師と意見交換。受診率の向上病気予防、要望等について活発な討論がされる。特に産科・婦人科開設の要

求は大きい。

12月5日 第2回臨時議会

副議長に横島隆二(南伊豆町)氏に決定。共立湊病院の指定管理について、(仮)下田メディカルセンターの指定管理者の指定について、なぎさ園の指定管理について、補正予算案8,030万円(交付金)以上5件について可決。

12月24日 特別委員会

意見箱「声」の確認。事業に対する特別交付税中味について審議。

東河環境センター 組合議会

10月19日 東河環境センター議会 第2回定例会が開かれた。

平成22年度補正予算(第1号)平成21年度決算認定の2議案について審議し、いずれも可決、認定した。21年度決算では、歳入6億6,249万8,560円、歳出5億8,179万8,143円 差引残額8,069万8,417円。22年度補正予算では歳入歳出それぞれ7,069万8,000円を追加し、予算額を7億2,203万5,000円とする。その他の議案では、東河環境センター財政調整基金設置条例の一部改正、他2件が審議され、いずれも可決、認定した。21年度のゴミ処理の実績は総量で13,237トン、河津町分は4,141トンであった。



土屋 桑太郎 議長

議長の諸般の報告と議会の動き

9月

- 13日 町内交通安全対策委員会（山田議長）
- 17日 県町村議会議長会（山田議長）

10月

- 11日 町民体育大会
- 13日 第5回臨時議会（議会人事決定）
- 19日 県町村議会議長会研修会
自治功労賞表彰
勤続19年 飯田 正 臣氏
勤続11年 相馬 宏 行氏
土屋桑太郎氏

- 20日 賀茂郡議長会（東伊豆町）

- 22日 松崎町棚田サミット
- 25日 地域医療振興協会理事長来庁。
- 28日 郡議会議員研修会（松崎町）

11月

- 1日 県地方議会議長連絡協議会政策研修会
- 3日 河津町表彰式
桜井 泰 次氏
稲葉修 三郎氏
臼井市 太郎氏
- 4日 地域医療振興協会が議員説明会（役場）

- 6～7日 29回町民文化祭
- 7日 河津会総会（江東区）
- 8日 戦没者招魂祭
- 9日 町内社会福祉大会
- 14日 町体育協会30周年記念イベント（河津中学校）
講演 山本勝次氏
- 15日 富士山静岡空港利用促進協議会、講演会
- 16～17日 54回町村議会議長全国大会（東京都）
- 21日 峰大噴湯祭り

- 25日 教育講演会（南小）
講師 高田明和氏
- 26日 第6回臨時議会
- 28日 第6回踊り子文学祭
第9回町青少年の主張大会（ふれあいホール）
- 12月
- 3日 第11回県市町対抗駅伝大会開会式（静岡市）
- 6～7日 町会議員視察研修、白馬村表敬訪問
- 8日 議会運営委員会

～私も一言～

子供と共に

木曜日はウォーキングで文化の家へ。10時10分から乳幼児向けのおはなし会「はらぺこあおむしの会」があるのです。0歳の赤ちゃんから入園前の3歳児までが、お母さん、お父さん、おばあちゃんと一緒に来ます。童謡で始まり、絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居、手遊び、わらべ唄の「さよならあんころもち」で終わります。小さな手で拍手をしたり、バイバイしたり、ボランティアで行っているのですがとても楽しいです。会終了後は、お母さん同士

色々お話もしたいようですが、図書館という事もあり、外で話している姿を見かけます。駐車場近くで子どもの遊ぶ様子を見るにつけ、ゆっくりおしゃべりできる安全な場所が早くほしいと思います。ヒブワクチン・肺炎球菌の予防接種の話を知りました。何万円もかかるのでは受けられる子と受けられない子ができるのではないのでしょうか。議会で負担金助成の話が質問されていました。住みよい河津町、住みたい河津町になる事を願っています。

子育てボランティア

横山 春子

編集後記

湊病院問題もいよいよ地方債が申請されるまで進んできた。1日も早く着工されることが望まれる。新年度の予算編成も進められていることだろう。町政にも変化の兆しはみえるだろうか。今年の桜祭りは2月5日から開催される。寒気の中、春の訪れが待ち遠しい。沢山の来客を迎えたいものだ。（小林）